

令和6年度備前県民局地域づくり支援事業 最終報告

実施団体：公益社団法人 岡山東法人会

担当課：備前県民局税務部収納管理課

＜事業名＞岡山県版税に関する映像等制作

＜事業概要・各主体の役割＞

（事業概要）

小学生の児童（生徒）を対象とした税に関するアニメ作品を制作し、当会が実施するイベント等で作品を上映した。

作品は約16分の映像で、岡山の映像や施設等をアニメ化し、①主人公たちの出会い、②街を支える税金を実地で学習、③税金をなくそうと企むドクター・カットとの戦いの三話で構成している。

各話におまけ映像を挿入し、税金が地域に役立つことを紹介している。

また、制作は学校法人大原学園と岡山情報ITクリエイター専門学校の協力によって、専門学校生が中心となって行った。

なお、上映は実施状況のとおりである。

（各主体の役割）

- ・実施団体：事業の企画・実施、事業報告書の作成
- ・担当課：事業企画協力、撮影協力、広報協力、補助金交付

＜実施状況＞

1 制作

- (1) 4月12日 岡山情報ITクリエイター専門学校でのプレゼンテーション
(専門学校生への協力要請)
- (2) 8月 市内撮影
- (3) 9月 シナリオ完成
- (4) 10月 限定版完成

2 上映

- (1) 11月2日 知って得する？税金（表町大誓文払い）
表町で行われる「備前岡山ええじゃないか大誓文払い」初日に当会女性部会が「知って得する？税金」イベントを例年行っているが、本年はそこでアニメ作品の上映を行った。
前年の状況から500人を超える集客を予想していたが、季節外れの台風、大雨によって集客ができず、映像を視聴した64人にアンケートをしてもらったにとどまった。
- (2) 1月27日 鹿田小学校 バンビクラブ（放課後児童クラブ）
バンビクラブのご協力で、小学校3年生以上の児童37名を対象に上映を行った。4年生以上は少なかったが、全員にアンケートをもらった。

(知って得する？税金イベント)



(鹿田小学校 バンビクラブ)



3 その他

作品は学生が制作を続けており、3月末に完成版ができる予定である。

来年度以降の活動には、完成版を活用することを計画している

なお、映像は11月から大原学園エントランス、当会のホームページ上で公開したほか、2月から岡山駅南地下道ビジョンにおいて映像（音声なし）を流している。

また、3月の租税教室（放課後児童クラブ）においても活用する計画である。

(大原学園)



(岡山駅南地下道ビジョン)



＜成果・効果＞

アンケートの結果、作品は大人からの評価は高かったが、小学校低学年には理解しづらい内容であった。今後も長く使用できる内容であるため、会活動の様々な場面で活用したいと考えている。

なお、アンケート結果は、岡山情報ITクリエイター専門学校と情報共有し、今後映像を制作する場合の参考とする。

(アンケート結果)

1 作品を楽しめましたか？

年代	とても楽しめた	少し楽しめた	楽しくなかった	その他	
				コメント	
小学校低学年	18	13			
小学校高学年	7	6	1		内容がわからない
学生	3				
社会人	31	19		2	途中から見たので
計	59	38	1	2	

【コメント】

アニメ作品で幅広い年齢層に受け入れられていると感じた。

2 税金はわかりやすかったですか？（複数回答あり）

年代	わかりやすい	初めて知った・ もっと知りたい	むずかしい・ わかりづらい	その他	
				コメント	
小学校低学年	13	10	11	3	興味が無い・長くて疲れた
小学校高学年	9	10	3	1	
学生	2	1			
社会人	43	6	4	5	子供にわかりづらい・言葉がむずかしい
計	67	27	18	9	

【コメント】

小学校低学年にとっては、税金が理解しづらいだけでなく、言葉（用語）も難しかったと感じられた。

3 続き（続編）を見てみたいですか？

年代	みたい	みたくない	どちらでもない
小学校低学年	17	4	10
小学校高学年	9	1	4
学生	3		
社会人	38		14
計	67	5	28

【コメント】

内容を理解できたと思われる社会人等からは、続きが気になるといった意見が多かったが、十分理解できなかった小学生からは興味が示されなかった。

また、制作する専門学校生にとっては、税金への理解を深めながら、授業で学んだ制作技術を磨くことができた。

地域への貢献活動をしながら、自らを成長させることができたという経験は、これから社会人となる学生にとって貴重なものになったと考えている。

なお、制作した学生などには、こうした取り組みを通して社会人として成長してもらいたいと考えていた。

そのため、学生には上映するイベントに参加してもらい、法人会会員と交流することを計画していたが、イベントが1回しかなく、その当日が台風の予報のため参加させることができず、残念な結果となった。

担当課：制作する専門学校生に、税の大切さを知ってもらい（租税教育）ことから始め、キャラクターデザイン、撮影場所の選考、シナリオづくり、アフレコ等作品をブラッシュアップしていき若干制作日数は超過したが、完成度の高いものが仕上がった。

11月のメインイベントは、悪天候のため、学生が参加できず残念だったが、アンケート結果は、好評だった。

＜課題・今後の方向性＞

（課題）

実施団体：制作されたアニメ映像の活用にあたっては、次のような課題がある。

1 作品を多くの人にみてもらえる機会をどのように作るか

アンケート結果のとおり、小学校低学年ではアニメ映像を楽しめるが、内容の理解が難しいため、小学校低学年が中心の放課後児童クラブでの租税教室にはなじまないと考えている。

そのため、小学校高学年（以上）を対象に多くの人に見てもらう機会を作ることが重要と考えている。

一方、イベント会場に来場した社会人は、大人でも楽しめる内容と回答しており、大人が子供と一緒にみることができる親子税金スクールのような機会を作りたいと考える。

2 租税教室で活用する場合のシナリオ作成

租税教室では、子供たちが税への理解が深まるようアニメ作品の内容にあわせたシナリオを作成し、担当する講師に協力してもらうことが必要となる。

担当課：現在行われている小学校6年生への租税教育用として、新たにシナリオを動画に合わせて作成する必要がある。またターゲットとなる小学生に、より多く見てもらうには、今回の15～16分の作品は長すぎるため、放映の機会が限られる。

（今後の方向性）

実施団体：令和7年度は継続事業として次のとおり計画するほか、以降も活用できる機会をできるだけ多く作り、小学生等の税金への理解が深まるよう取り組む。

また、岡山情報ITクリエイター専門学校とも今後の作品について協議する。

1 アニメ映像に合わせた租税教育用シナリオを作成し租税教室で活用する。

2 当会のイベント（親子税金スクールなど）で活用する。

3 他の法人会に、イベント等で活用するよう働きかける。

担当課：ダイジェスト版やクイズ形式など短編動画を作成することにより、広報の汎用性がでてくる。引き続き、県の広報媒体を利用して、広報活動を支援したい。また、新たに完成したキャラクターなので、法人会等の租税教育で今後も大いに活用していただきたい。